

広報誌 つくし

発行日 2026年5月30日発行

第55号

令和8年度を迎えて

医療法人つくし会 理事長

南国病院 院長 中澤 宏之



新年度を迎えて一言ご挨拶を申し上げます。令和8年度もつくし会にとって大きな節目の年となりそうです。4月1日には、県内外で第一線の公的・民間病院において長年に亘り脳神経内科診療を担ってきた葛目大輔先生が脳神経内科部長として着任しました。葛目先生は診療実績だけでなく、数々の専門医・指導医であることを活かして、若手脳神経内科医の指導、学会発表などを積極的に行ってこられました。また、育休中であつた山崎加子先生が4月17日に復帰し、脳神経内科が3名体制となりましたので、当院脳神経内科の外来・入院機能が強化され、これまで以上に県内の脳神経内科医療に貢献できると喜んでいきます。令和7年1月からは、外来患者数、外来での内視鏡検査件数が飛躍的に増加し当院の内科診療が充実しましたが、令和8年度も消化器内科の専門的医療、かかりつけ医機能をしっかり担っていききたいと思います。精神科は専門医3名を含む4名体制となりましたので、一般の精神科診療とともに、認知症の方の早期発見と治療、特に軽度認知障害(MCI)の方の早期治療導入、うつ病・不安障害・適応障害の方の復職支援、発達障害の方の相談支援をこれまで以上に充実、推進させたいと思っています。いずれの診療科も患者さんの数が増え、外来予約等でお待たせすることがありますが、医師が充実することのできる限り早く外来・入院治療が提供できるよう取り組んで参ります。どうぞお気軽にご相談ください。

今年度の事業計画としては、魅力のある職場、働きやすい職場づくりに向けた対策に取り組めます。病院DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進させ業務の効率化、DXを利用したコミュニケーションの活性化を図っていきます。今年度も学会出張、研究発表、学術研修を積極的に支援し、若い職員の皆さんが無理なくキャリア形成できる環境づくりに取り組んでいきます。

令和8年4月に当院は開院57周年を迎えました。57年間という長い間病院を継続、発展できたのはこれまで勤めて頂いた職員の皆さん、地域や関係機関の皆様のお陰と深く感謝しております。この1年間では、新たに21人の職員を迎えることができました。新年度を迎えて新たな仲間と一緒に各部署が大いに発展することを期待しています。

充実した診療体制で地域の皆様に貢献できるよう、職員一同努力してまいりますので、令和8年度もどうぞよろしくお願いいたします。

目次

葛目大輔先生からのご挨拶	2
第13回開院記念院内発表会	2
リハビリテーション課「一緒に楽しむ！」	4
わんぱくこうち	5
第78回高知市展	5
シュークリームが美味しいでしょう！	6
職員満足度調査の結果報告	6
つくしカーニバル『座フィットネス』	8
新ユニフォーム	8
新たなスタート	9
新人集合研修会	9
ニューフェイスの紹介	10
診療のご案内	12

ご挨拶

脳神経内科部長 葛目 大輔



このたび、令和8年4月1日付で南国病院
脳神経内科に着任いたしました葛目大輔と
申します。生まれも育ちも南国市であり、地
元高知に深いご縁を感じております。

南国病院とは不思議なご縁があり、かつ
て祖父が当院に勤務しておりました。そのよ
うな背景もあり、私自身、幼少の頃より当院を身近に感じなが
ら過ごしてまいりました。

私の趣味は自動車でございます。運転そのものも好きではあ
りますが、特にモータースポーツ観戦を楽しみにしております。
モータースポーツにはいくつかの分野がございますが、一般的
に広く知られているF1に加え、私が特に愛好しているのは世界
ラリー選手権(WRC)でございます。近年は愛知県で開催され
るようになり、令和5年11月には現地観戦の機会を得て、貴
重な体験をさせていただきました。

平成10年に高知医科大学(現 高知大学医学部)を卒業
後、同大学老年病科に入局し、主に神経内科領域の診療に

従事してまいりました。これまでの医師としてのキャリアにおいて
は、主に急性期疾患の診療を中心に経験を積んでまいりまし
た。特に前職である近森病院には約17年間在職し、脳卒中
(とりわけ脳梗塞)、てんかん、急性脳炎・髄膜炎、ギラン・バ
レー症候群などの急性期神経疾患の診療に携わってまいりま
した。加えて、パーキンソン病や脊髄小脳変性症、筋萎縮性
側索硬化症といった神経変性疾患、さらには重症筋無力症や
多発性硬化症などの神経免疫疾患といった、いわゆる「神経
難病」の診療にも数多く関わってまいりました。

これまでに培ってまいりました経験を、今後は南国病院にお
いて少しでもお役に立てるよう尽力してまいりる所存ございま
す。着任間もないため、何かと至らぬ点も多く、皆様にご迷惑
をおかけすることあろうかと存じますが、ご指導ご鞭撻を賜り
ますようお願い申し上げます。

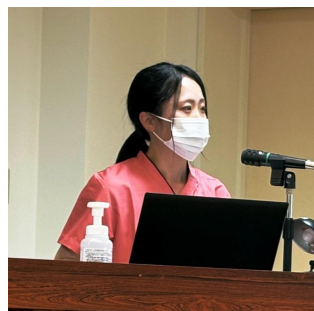
また今後は、当院における頭痛診療にも力を入れてまいりた
いと考えております。

何卒よろしくようお願い申し上げます。

第13回 開院記念院内発表会

2026.4.15(水)

南国病院 在宅医療支援センター・センターホール



学術研修委員会委員長

副院長・精神科部長 玉元 徹

1 番目のリハビリテーション課の作業療法室長の岡田はる佳
さんのご発表は映像も豊富で、相変わらず先進的な治療を
行っていることがわかる内容でした。非常にわかりやすく丁寧
なご発表だったと思います。当院はリハビリテーションが重要な

病院ですので、今後もご
研鑽を積まれることを期
待したいと思います。

南国病院
リハビリテーション課の取り組み
～『その人らしさを支える』
リハビリテーションとは～

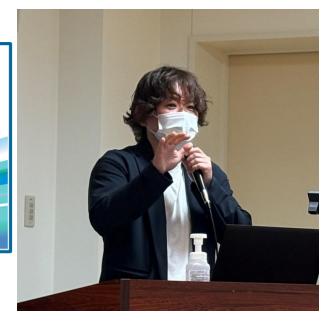
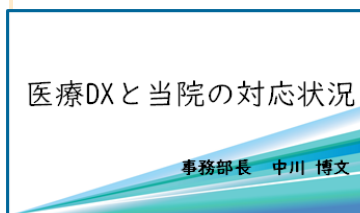
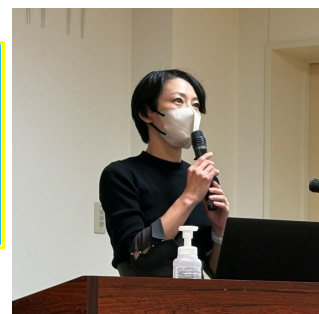
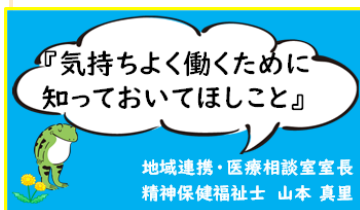
リハビリテーション課
作業療法室室長 岡田 はる佳

2番目のソーシャルワーカーの山本真里さんのご発表は相変わらず流暢な語り口で、最近重要視されているハラスメント

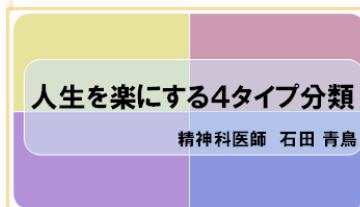


のことなど患者さんも職員も心穏やかにやっていく重要性を説いていたと思います。多くの方々にとってとても有意義なご発表だったと思います。

3番目の中川博文事務部長の医療DXについては、みなさんのご感想の通り、なかなか専門的な部分が多く、にはわかりにくい内容でしたが、これからの医療においてはとても重要な課題でしたので、これもまた職員全員にとっても重要な内容だったと思います。



4番目の精神科の石田青鳥先生の人格の4分類のお話はとても興味深く聞くことができました。みなさんの感想の内容にも多くの賞賛の声が上がっていました。石田先生は精神的な事柄について、いろんなところにアンテナを伸ばして意欲的に勉強されていて感心しております。



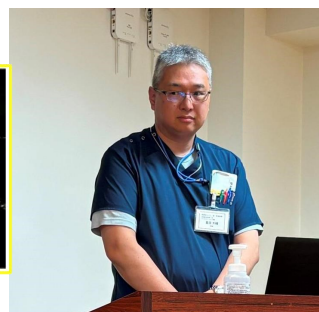
5番目は看護部チーム会活動の振り返りでしたが、各チームが1年間取り組んだ内容がつぶさに理解できる内容でした。看護だけでも大変ですのに、素晴らしいことだと毎年感心しております。

看護部チーム会活動の振り返り

看護部
各チーム会代表



6番目は、本発表会のメインイベントとも言うべき、脳神経内科の葛目大輔先生の御講演でしたが、さすがにご発表が手慣れていらっやって、非常に穏やかにかつわかりやすく今後の方針などをお示しいただいたと思います。特に外来診療で頭痛に特化した診療を望まれていらっやるとのことで、私も一度頭痛について地域オープンセミナーで話したことがあって、一時的に勉強しましたが、十分な知識が頭に入っておらず、頭痛について葛目先生に相談できるので、とてもうれしく思います。



最後にご発表されたみなさんに感謝を申し上げます、本当にお疲れ様でした。
ありがとうございました。



リハビリテーション課 「一緒に楽しむ！」

作業療法室室長 作業療法士 岡田 はる佳

当院の特殊疾患病棟では、長期療養中の患者様に対し個別訓練だけでなく、リハビリテーション課が企画する定期的なレクリエーション活動の実施に取り組んでいます。

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が連携し、季節ごとの行事や小集団での体操、歌唱レクリエーションを定期的に行っています。こうした活動は、身体機能の維持などのリハビリ効果はもちろん、患者様同士の交流の促し、精神的な活性化などの効果があり、集団活動を「一緒に楽しむ」ことで孤独感の解消や意欲の向上にも繋がるため大切な機会となっています。

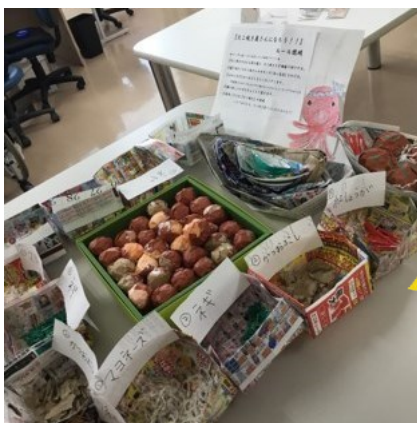
実際、レクリエーションに参加された患者様からは、「入院してからこんなに楽しかったのは初めて、また参加したい」「次はいつあるの？とカレンダーを見るのが楽しみになった」といったお声をいただいております。

単調になりがちな入院生活の中で、共に笑い、季節を感じ

合う時間、意欲を引き出すレクリエーションを通じて、私たちスタッフも共に楽しむ時間を大切にし、今後もリハビリが楽しみとなるような工夫をしながら取り組みを続けてまいります。



とんとん相撲
南国病院場所



たこ焼きを
見本通りに
丁寧に早く
盛りつける



わんぱーくこうち

2026.4.23(木)

和の森 わんぱーくこうち

精神科デイケア室 作業療法士 北川 結大

令和8年4月23日、高知市桟橋にある「わんぱーくこうち」に出かけてきました。デイケアメンバーに「行ってみたいところ」を聞くと「久しぶりにわんぱーく高知に行きたい」との声があり、過ごしやすい季節に入ったため出かけました。しかし当日はまさかの雨。傘をさしての散策となりました。雨の中でしたが園に入ると動物たちが迎え入れてくれ、身近な動物から珍しい動物まで近い距離で見たり触れ合ったりすることができ皆さん楽しまれていました。「可愛らしいね。」「こんな動物おるがや。」「雨やき動物も元気ないろうか。」など散策しながらメンバー同士の交流もありました。デイケアとしてもまたいろいろな場所に行ってみようと思います。

メンバーK・Kさんより

プログラムの一環としてわんぱーくこうちへ行ってきました。
こじんまりとした施設でしたがしっかりとした施設になっており、また当日は天気良くありませんでしたが、その分人も少なく存分に動物を観察できました。

今後機会があれば再び訪れてみたい場所となりました。



第78回 高知市展

2026.5.23(土)～2026.6.7(日)

高知市文化プラザ かるぽーと

主催:高知市展代表委員会・公益財団法人高知市文化振興事業団・高知市

精神科デイケア室 作業療法士 北川 結大

令和8年5月28日、高知市文化プラザかるぽーとで行われた「第78回高知市展」に見学に行きました。今回デイケアからも「春夏秋冬」と題した風絵、「七色」と題したモザイクアートの2点を出品し展示していただきました。アートの時間で創った作品がかるぽーとに展示されると迫力も増して見え、メンバーさんも喜ばれていました。

また他の作品も見回り、素晴らしい作品に感動したり、作品作りの参考にされていました。



「七色」

メンバーM・Kさんより

各部門に大作が多く、出展者の心意気を感じられた。鮮やかな色使いは参考になった。私も来年は挑戦したくなった。

メンバーY・Hさんより

いろいろ見れてよかった。デイケアの作品は良くできていた。写真部門の作品がよく撮れていた。

メンバーO・Rさんより

みんないい作品で良かったと思う。これからすばらしいと思う作品を出したい。



「春夏秋冬」

シュークリームが美味しいでしょう！

2026.5.7(木)

在宅医療支援センター 3階調理実習室

精神科デイケア室 看護師 永森 千恵

デイケアプログラムのお菓子作りにて『いちごシュークリーム』を6名で初めて作りました。午前中はシューの生地作りをされ、クッキングシートに生地を絞り出すのに、「これは小さい」「もっと大きく」と賑やかに形を作られました。カスタードクリームも午前中に作りました。生地は無事に膨らみプチシューが沢山になり、午後は皆で手分けして必死でカスタードクリーム、生クリーム、イチゴを生地に詰め込みました。

実食し「美味しい！」とおかわりをされるメンバーさんもいれば、「イチゴが美味しい！」と言われるメンバーさんもおられ、いちごじゃなくてシュークリームが美味しいでしょう？と問いましたが「イチゴが美味しい！」と譲らない方もいました。

参加されていない他のメンバーさんにもシュークリームを食べていただき「美味しかった」と感想を聞かれて喜ばれていました。



メンバーT・Mさんより
思っていたより美味しかったけど難しかった。中身を入れる時、皮が壊れそうで心配だった。次はパンを作りたい。

職員満足度調査の結果報告

看護部長 小松 匡輔

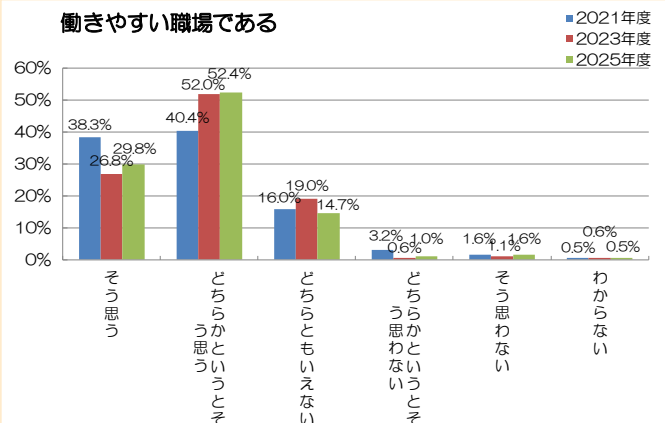
このたび、当院では職員一人ひとりが働きやすく、やりがいを持って勤務できる職場環境づくりを目的として、「病院職員満足度調査」を2026年3月に実施いたしました。調査には多くの職員の皆さまにご協力いただき、業務内容や職場環境、人間関係、教育体制、福利厚生などについて、率直なご意見をいただくことができました。ご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。

今回の調査結果を以前の調査(2021年度、2023年度)と比較してみると、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答者数が上がり「そう思わない」「どちらかというと思わない」の回答者数が下がった項目は、

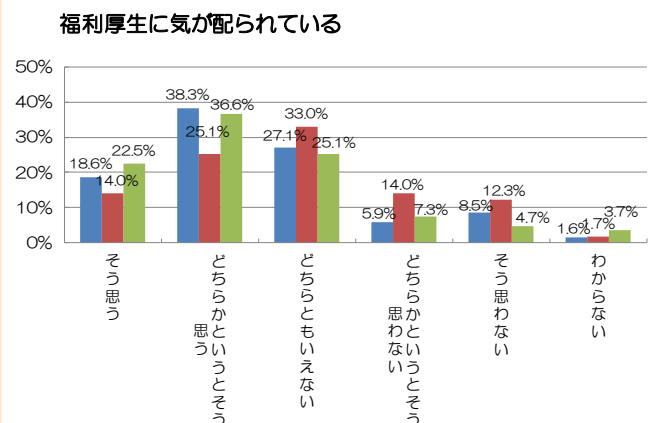
【働きやすい職場である】【福利厚生に気が配られている】【上司との人間関係は良好である】でした。

一方、【超過勤務が多い】という項目は「そう思う」の回答者数が大幅に増えていました。

働きやすい職場である



福利厚生に気が配られている



今回の調査結果において、【超過勤務が多い】と感じている職員が増加したことは、病院全体として重要な課題であると認識しています。背景には、部署ごとの業務量の偏りや人員配置の違いに加え、外来患者数の増加による業務負担の拡大が影響しているものと考えられます。

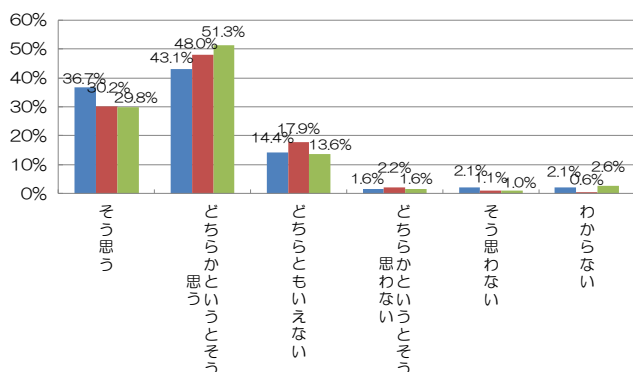
今後の課題としては、まず各部署の業務内容や残業発生要因を詳細に分析し、業務の平準化を図ることが必要です。また、特定の職員や部署へ負担が集中しないよう、業務分担や応援体制の見直し、多職種間での連携強化も重要になります。加えて、医療DXやICT活用による業務効率化を進め、記録業務や情報共有にかか

る時間の削減を図ることも求められます。さらに、超過勤務の改善には、人員確保や育成だけでなく、「定時で帰りやすい職場風土づくり」も欠かせません。管理職を含め、業務改善に対する意識を共有し、職員が心身ともに健康で働き続けられ

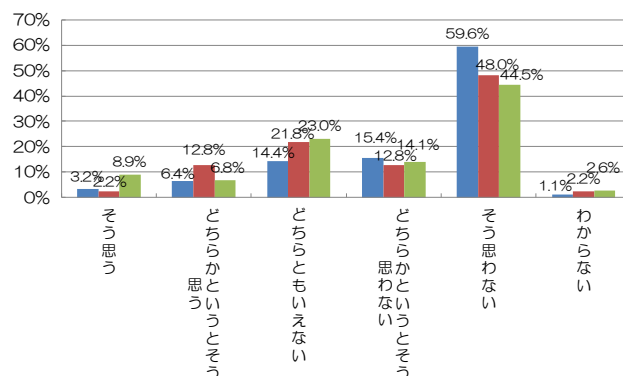
る環境整備を進めていくことが、今後の重要な課題であると考えています。今回いただいたご意見を今後の病院運営に活かし、職員が安心して働き続けられる環境整備に努めてまいります。また、働きやすい職場づくりは、医療の質向上や患者サービスの充実にもつながる重要な取り組みであると考えています。今後も職員の声を大切にしながら、より良い病院づくりを進めていきたいと思ひます。



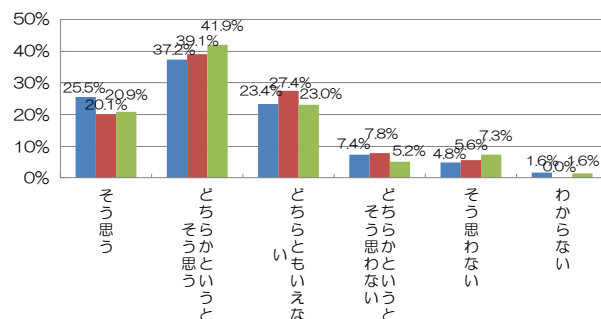
上司との人間関係は良好である



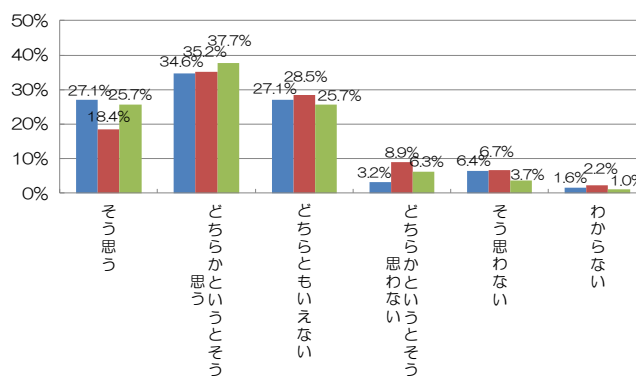
超過勤務が多い



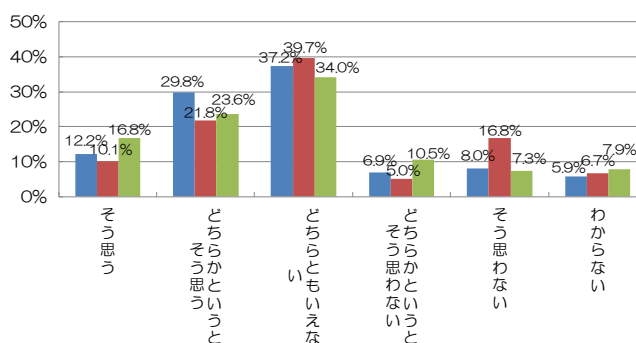
過度に精神的不安がなく仕事ができる



全体として今の仕事に満足である



知人に職場としてすすめられる病院である



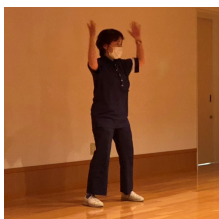
つくしカーニバル 『座フィットネス』

2026.5.14(木)

南国病院 在宅医療支援センター・センターホール

精神科デイケア室 看護師 永森 千恵

新しい職場に来て気が付けば在宅医療支援センター4階でイベントの舞台に立ち、いつの間にか、つくしカーニバル運営委員になっていました。



もともと運動嫌いで健康志向もなく、たまたまダンスフィットネスに出会い「おーのしんどい、これほどまで動かんでもかまさんが…」と思いながらも曲が良いので、CDが欲しくてインストラクターの受講を受けていました。苦手なスクワットは顔だけやってる振りをし、分からないステップはとりあえずそちらへ歩くという調子で10年以上経ち、まさか実際にインストラクターをする立場になるとは夢にも思いませんでした。

単発イベントは別のライセンスが必要になるため、筋肉や関節の解剖生理や安全で効果的な動きなど基本を学び、何とかライセンスを取得しイベント開催にこぎ着けました。

以外と受講者に医療関係者が多く、老健施設や整形の看護師、保健師、病院の受付の方もおられ、活躍の場を広げていきたいと意気込まれていました。

しかし講座を学んでもダンスのセンスはどうにもならず、途中で振り付けの記憶が飛んだりしていますが、アンケートで温かいお言葉を頂くととてもありがたく思いました。音楽を聴きながら少しでも楽しかった、ストレス発散できたと感じていただければ幸いです。

(初参加の方の感想)

- すごく楽しくて、絶対次回も参加します。

(感想・ご要望など)

- 発汗できて、やったという満足感があり自己肯定感が持てました。そう思える人が増えると嬉しいです。
- 永森さん、準備が大変だったでしょう、ありがとうございます。
- いつも楽しみにしています、良い汗かきました、ありがとうございます。
- とっても楽しかったです。時々笑いもあり、恥ずかしさはなくなりました。
- 腕を上げたり、普段あまりしない動きをする事によって、全身を動かし血流が良くなり発汗作用も促して、ストレス発散にもなるという有酸素運動、皆さんに体験していただきたいです。



新ユニフォーム

医療安全対策室

薬剤課

リハビリ(女性)

リハビリ(男性)



開院記

外来看護師

病棟看護師

看護補助者

検査室

栄養課

新たなスタート

【 作業療法室室長の抱負 】

作業療法士 岡田 はる佳

今年度より、作業療法室室長を拝命いたしました、岡田はる佳です。昨年後は作業療法室室長代行として手探りの毎日で準備期間を経て、今年度より室長を務めることとなり責任の重さや緊張感を持ちながら身が引き締まる思いで受け止めております。



当院には神経難病を抱え、長期療養生活を送られている患者様が多くいらっしゃいます。日々のリハビリでは身体面へのアプローチはもちろんのこと、それ以外にも「楽しみ」や「生きがい」を感じて頂ける時間を大切にしたいと考えています。患者様に寄り添いながら、入院生活の中で、少しでも気持ちが明るくなるような瞬間が提供できるように努めてまいります。

私一人の力は微々たるものですが、他の職員やスタッフに助けをもらいながら、一步一步進んでいくつもりです。まだまだ、至らない点も多々あるかと思いますが、皆様の声に耳を傾けながら、よりよい療養環境を整えられるように全力を尽します。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

【 地域連携・医療相談室室長の抱負 】

認定精神保健福祉士 山本 真里

この度、地域連携・医療相談室の室長を拝命致しました。



私は元々、物事を深く考え込み、悩み、中々次に進めない性格でした。しかし、26年前に精神保健福祉士として働き出してから、一人で抱え込むのではなく、周囲の皆様に助けて頂きながら、一步一步前へ進めるようになりました。

南国病院へ就職してから丸12年を迎えようとしております。この12年間も本当に沢山の方に支えて頂きながらやってこられたと思います。

支えて下さった沢山の方がいるからこそ、当院の地域連携・医療相談室も、患者様やご家族様、地域の関係機関の皆様に信頼して頂き、安心して相談できる場所でありたいと思っております。

至らない点も多くあると思いますが、医療や福祉、生活の中で感じる不安や困りごとを「まずは南国病院の相談室に話しをしてみよう」と思っただけのような開かれた相談室を目指して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

新人集合研修会

2026.4.6(月)～4.7(火)

南国病院 会議室

看護部長 小松 匡輔

当院では、医療の質と安全性を高め、地域の皆様に安心の医療を提供するため、毎年「新人職員集合研修」を実施しています。

この研修は、新入職員が医療人としての責任感を養い、現場で必要とされる基礎知識と技術を確実に習得することを目的としています。研修では、医療安全や感染対策に関する講義だけでなく、虐待の研修やITリテラシー、救命救急など病院職員として必要な基礎を学んでいただきました。

特に、職種を超えて意見交換を行う場面では、お互いを理

解し協力することの大切さを学ぶ良い機会になったと思います。医療現場では、一人で完結する仕事はなく、チームで支え合いながら患者さんを支援していくことが重要です。今回学んだ内容を日々の業務の中で実践し、困った時には一人で抱え込まず、周囲に相談しながら成長していただきたいと思います。看護部としても、皆さんが安心して成長できるよう支援してまいります。

今回、研修を企画・運営して下さった研修担当者の皆さまには、限られた時間の中で充実した内容を準備していただき、心より感謝申し上げます。

ニューフェイスの紹介

資格取得奨励制度を活用して

3病棟 看護師 中村 和樹

4月1日から3病棟に配属になりました中村和樹です。

以前は5病棟で看護助手として勤務し、その後委託制度を利用してもらい看護学校へ行きました。この春、南国病院へ看護師として帰ってくることができました。

分からないことだらけで日々の業務に不安や緊張を持ちながら先輩方からのサポートを受けつつ、少しでも早くチームの力になれるように頑張りたいと思います。

【 検査室 】

臨床検査技師 武嶋 佑果

1月から入職しました武嶋と申します。日々多くのことを学びながら業務に取り組んでおります。臨床検査技師として、正確で丁寧な検査を心掛けるとともに、患者様に安心して検査を受けていただけるよう努めてまいります。まだ至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、周囲との連携やコミュニケーションを大切にしながら、一つ一つの業務に責任を持って取り組んでまいります。よろしくお願いいたします。

【 放射線室 】

診療放射線技師 小松 高志

4月に放射線室に採用された診療放射線技師の小松高志です。20数年前に非常勤で放射線室に勤務させてもらっていました。その頃と比べ、電子カルテ、PACS、MRI、CT、X-TV、骨密度、DRシステム等、高度な最新の医療機器が導入されています。このような恵まれた環境で働けることにやりがいを感じています。この度、南国病院で改めて働く機会を得る事ができ感謝しています。今まで経験してきたことを活かし、チーム医療に貢献していきたいと思ひます。宜しくお願い致します。

【 精神科作業療法室 】

作業療法士 熊谷 奈未

このたびご縁をいただき、入職しました作業療法士の熊谷奈未と申します。

まだ、不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、1日でも早く職場に慣れ、皆様のお力になれるよう努力してまいります。

これまでの経験を活かしながら、新しいことも積極的に学び、患者様やご家族様に安心していただける関わりを大切にしていきたいと考えております。至らない点もあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



【 理学療法室 】

理学療法士 松川 航平

4月から入職した松川です。以前は、整形外科クリニックで勤務していたので新しい環境での仕事となります。特に難病に対する介入は経験が少なく、日々勉強をさせて頂いています。これまでの他施設で経験したこと、学んだことを応用しながら、ここでの経験を業務に発展させていけるよう頑張っていきたいと思ひます。

また、出身が東北で高知のことも土佐弁のこともまだまだ勉強中です。皆さんに教えて頂いたり、東北のことも知ってもらえたらと思っています。よろしくお願いいたします。



理学療法士 廣光 紀音

患者様一人ひとりに寄り添い、安心してリハビリに取り込んでもらえるように頑張りたいと思ひています。また、身体機能だけでなく、その人らしい生活を続けられるように関わることを大切にしていきたいです。まだまだ未熟ではありますが、常に学ぶ姿勢であり続け、知識や技術を身につけながら成長していきたいと思ひています。患者様や



スタッフの皆様とのコミュニケーションを大切にし、信頼される理学療法士を目指して頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【 看護部 】

2病棟 看護師 野口 たみ子

4月より入職いたしました野口と申します。看護師として20数年経ちましたが、難病病棟での経験はなく新たな分野で学びたいと思い就職させて頂きました。

新しい環境で学ぶ姿勢を大切に、患者様一人ひとりに寄り添った看護を提供したいと思います。また、患者さまやご家族に安心して頂けるよう、丁寧に誠実な対応を心がけ、信頼される看護師を目指して努力してまいります。

2病棟 看護補助者 石永 麻央

3月から看護補助者として働かせて頂いています、石永と申します。私はこれまで、介護施設で働いており、これまでの経験も活かし、一つ一つの業務をしっかりと取り組んでいきたいです。



日々限られた時間ですが、一番に、患者さんに寄り添い、話を聞いてあげられたり、業務を覚え患者さん、職員に信頼されるよう頑張っていきたいです。至らない点ばかりですが、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

5病棟 看護補助者 岩河 里佳

この度、看護補助者として入職しました。これまで勤務していた療養型病院での経験を活かし、安全なケアに努めたいと思っています。精神科での勤務は未経験ですが、私自身も過去に心の不調を経験した時期があるため、患者さんが抱える不安やつらさに寄り添った関わりができるのではないかと考えています。



療養型での経験を活かしながら、精神科特有の心のケアを学んでいけたらと思っています。患者さんやご家族に安心していただけるよう笑顔で励みたいと思っています。

【 地域連携・医療相談室 】

精神保健福祉士 岡田 まどか

今年新卒で入職し、精神保健福祉士として勤務しています。社会人1年目ということもあり、不安や緊張を抱えながら、日々業務を覚えることに精一杯の毎日です。しかし、相談室の先輩方をはじめ、多職種の皆さまに支えていただきながら、多くのことを学び、成長できる環境のありがたさも日々実感しています。患者さまの受け入れから入院生活の支援、退院支援、地域との連携まで幅広い業務に携わるなかで、一日でも早く成長し、患者さまのお力になれる精神保健福祉士を目指して努力していきます。

【 事務部 】

保清 馬詰 美和

4月から清掃業務を担当させていただきます馬詰といいます。

患者様にとって訪れる場所であり、感染対策の重要性を深く理解し、決められた手順を守って安全で清潔な環境作りに努めていきたいと思います。挨拶も忘れずに、丁寧な仕事を心掛けたいと思います。一生懸命頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

総務課事務 細川 将史

5月より事務部総務課に入職しました細川と申します。前職でも勤怠管理事務に従事しておりましたが、給与計算の事務は初めてのため毎日が新しい知識の吸収で、日々学ぶことばかりです。一日でも早く一人前になれるよう努めてまいりたいと思っています。至らない点多々あるかと思いますが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

診療のご案内

ホームページもご覧ください
<http://www.nankoku-hp.or.jp/>

診療科目	◆脳神経内科 ◆精神科 リハビリテーション科					休日診療	なし（但し急患は診療いたします）
	◆内 科 ◆消化器内科					予約診療	全科予約診療となっております
	◆放 射 線 科					救急指定	なし
診療時間	月～金	午前	8:30	～	12:30	健康診断	特定健診、胃がん検診(胃内視鏡検査)
		午後	1:30	～	5:00	面会時間	感染状況により、面会方法が変更になります。 詳細はホームページにてご確認ください。
	土	午前	8:30	～	12:30		

診療科／曜日		月	火	水	木	金	土
午前	脳神経内科	葛 目	中 澤	葛 目	中 澤	葛 目	中 澤 ※4 古 谷
	精神科	藤 田	石 田	玉 元	玉 元	小 松	中 澤 ※5 小 松 ※6
	内科 消化器内科	速 瀬	速 瀬 10:30まで 中 城 10:30以降	中 城 植（啓）	速 瀬 植（啓）	速 瀬	速 瀬 ※1 中 城 ※2 中 城 植（啓）※3
午後	脳神経内科			山 崎※7	山 崎※7	古 谷 ※4	
	精神科	玉 元 赤 松	玉 元	石 田	河 合 小 松	石 田	
	内科 消化器内科	速 瀬	中 城 植（淳）	中 城 植（淳） （禁煙外来あり）	麻 植（淳）	速 瀬	

備考	※1 速瀬医師の土曜日の診察は、第1・第3土曜日です。 ※2 中城医師の土曜日の診察は、第2・第4土曜日です。 ※3 麻植(啓)医師の土曜日の診察は、第2・第5土曜日です。 ※4 古谷医師の診察は、連続した最終金曜日・土曜日で再診のみです。 ※5 中澤医師の土曜日午前の精神科の診察は、再診のみです。 ※6 小松医師の土曜日の診察は、第1・第3土曜日です。 ※7 山崎医師の診察は、13:30～16:30です。	■認定・指定 日本神経学会准教育施設 日本精神神経学会精神科研修施設 日本老年精神医学会認定施設 高知県神経難病医療ネットワーク基幹協力病院 日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
---	--	--

理念	南国病院	1. 安全で質の高い医療によって地域に貢献します。 2. 信頼関係に基づき暖かい医療を提供します。 3. 専門性を追求し自己研鑽に努めます。	■病床数	162床	
			46床	2病棟	特殊疾患病棟(Ⅰ)
			56床	3病棟	特殊疾患病棟(Ⅰ)
			60床	5病棟	精神一般病棟(15対1)

基本方針	1. 病院が地域の社会資源であるとの認識に立ち、本院の専門性を通して、地域の医療と福祉に貢献します。	■診療実績 2025年度	外来患者数	32,637	名
	2. 本院は、脳と神経及び精神の疾病や障害を主な診療対象として、その神経学的、精神医学的診断、治療と臨床的研究に努めます。		(内新患者)	1,289	名
	3. 個々の患者とその家族への十分な説明とそれに基づく納得の上での同意を前提として診療を行います。		1日平均入院患者数	152.1	名
	4. 本院での医療行為は、科学的根拠に基づき、自由で暖かい生命倫理に立って行います。医療環境が常に清潔で、明るく保たれる様努力します。		精神科デイケア利用者総数	4,802	名
	5. 本院の職員は、常に自己の資質と医療技術の向上に努め、病める人々たちへの奉仕者としての自覚を持ちます。		通所リハビリテーション利用総日数	3,830	名
			訪問看護ステーションおおそね訪問延人数	6,318	名

発行元/医療法人つくし会 南国病院
発行責任者/中澤 宏之(院長)

〒783-0004
高知県南国市大桶甲1479番地3

電 話	(088) 864 - 3137 (代表)
F A X	(088) 863 - 3070
	(088) 802 - 8618 (地域連携・医療相談室)

